

《廣韻》の「通攝」について

矢澤 秀昭

序

《切韻》系韻書が早くに散佚し残巻本のみ現状では、韻書《廣韻》（正式名称、《大宋重修廣韻》陳彭年等編 1008年）は《切韻》音系をつたえる重要な資料であり、漢語音韻学を研究するものにとって絶対不可欠なものである。その《廣韻》を資料とし研究の対象とするのは多くは声、韻、調の面であり、「反切」や「韻部」などが重点的であった。無論《廣韻》は韻書ではあり、その第一の機能は詩歌作成のための「字典」にある。しかし、《廣韻》は字典の機能にとどまらず、百科事典的あるいは辞典的な要素も兼ねそろえている。その「辞典」の部分はあまり音韻学研究の対象としては重要視されていない。本論はこの辞典部分、特に「熟語、連語」に音韻学の研究対象が存在すると考え、それを分類、分析しようとするものである。ただ、《廣韻》全巻を対象とするには容易ではないので、「通攝」すなわち東、冬、鍾（平声）、董、腫（上声）、送、宋、用（去声）、屋、沃、燭（入声）の各韻所属のもののみを対象とした。ここではテキストとしての《廣韻》は、張氏重刊澤存堂蔵本《宋本廣韻》を底本とした周祖謨著《廣韻校本》を使用した。

熟語、連語の判断は比較的容易な場合もあるが、なかには簡単には察せられないものもある。ここではその判断基準を《宋本 廣韻全譯・第1分冊（通攝・江攝）》（坂井健一氏主編 汲古書院 1998年）のなかで「連語」として取りあげてあるものとした。だが僅かではあるが新たにいくつか加えた。ただ、地名、人名などの固有名詞は対象外とした。

一 挙例

熟語、連語（表は「熟語」とした）は次のように分類した。

- 1 疊韻甲型（同韻目）
- 2 疊韻乙型（通攝異韻目同声調）
- 3 通攝内型（通攝異韻目異声調）
- 4 双声型（同声母）
- 5 同調型（同声調）
- 6 重型（同字連語）
- 7 その他

以下に表としてまとめてみる。

番号	小韻	親字	熟語	分類	番号	小韻	親字	熟語	分類
001	東	東	東風	1	002	東	東	東風	1
003	東	鶴	鶴鴿	注1	004	東	儻	儻儻	1
005	東	凍	凍瀧	1	006	東	蝮	蝮蝮	4
007	東	凍	凍凌	5	008	東	蠹	蝓蠹	7
009	同	僮	僮僕	3	010	同	洞	洞船	5
011	同	筒	竹筒	3	011	同	筒	射筒	7
012	同	瞳	目瞳	3	013	同	甌	甌瓦	7
014	同	撞	撞牛	5	015	同	笛	竹笛	3
016	同	瞳	瞳矐	1	017	同	侗	侗控	1
018	同	炯	炯炯	6	019	同	鷓	鷓鷃	1
020	同	種	種桂	3	021	同	窳	通窳	1

《廣韻》の「通攝」について

022	同	𠵽	𠵽塘	注2	023	巾	衷	衷衣	5
024	終	𧈧	𧈧斯	5	025	終	蔘	蔘葵	5
026	終	柎	柎榘	5	027	忡	沖	沖融	1
028	崇	饒	饒饒	4	029	戎	茂	茂葵	5
030	弓	弓	弓矢	7	031	融	融	沖融	1
032	萼	萼	萼萼	6	033	穹	芎	芎翦	1
034	窮	窮	窮極	4	034	窮	窮	窮奇	4.5
035	風	𧈧	𧈧猗	7	036	充	羌	羌蔚	7
037	隆	夬	多夬	5	038	空	空	空虚	5
039	空	筩	筩篴	5	040	空	控	控控	6
041	空	控	土控	7	042	空	控	控侗	1
043	空	涇	涇濛	1	044	空	螻	螻皮	5
045	公	功	功績	7	046	公	工	工巧	7
047	公	疒	脱疒	7	048	公	蚣	蜈蚣	5
049	公	鈺	車鈺	5	050	公	𩺰	𩺰𩺰	注3
051	公	攻	攻撃	4	052	公	篔	篔笠	7
053	蒙	濛	涇濛	1	054	蒙	朦	瞳朦	1
055	蒙	矇	矇瞽	7	056	蒙	鷓	鷓鷃	1
057	蒙	幪	幪穀	3	058	蒙	髡	覘髡	4
059	蒙	蠓	蠓蠓	4	060	蒙	朦	朦朧	1

061	籠	籠	火籠	7	062	籠	朧	朦朧	1
063	籠	籠	籠頭	5	064	籠	瀧	瀧涑	1
065	籠	聾	耳聾	7	066	籠	嚨	喉嚨	5
067	籠	籠	籠古	7	068	籠	籠	籠嵒	1
069	籠	籠	籠裙	5	070	籠	籠	籠餅	7
071	籠	蠱	蠱蛭	7	072	籠	峴	崆峴	1
073	洪	泓	潰泓	4	074	叢	纂	籠纂	1
075	翁	螽	螽螳	4	076	翁	翁	翁鬱	4
077	翁	楸	水楸子	7	078	忽	醜	醜醜	1
079	通	瞳	瞳矓	1	080	蔓	椶	椶櫚	7
081	蔓	蝮	蝮蝮	1	082	蔓	嵒	籠嵒	1
083	蔓	蝮	三蝮	5	084	蓬	鬚	鬚鬚	2
085	蓬	芄	芄芄	6	086	烘	叻	叻叻	6
087	烘	訶	訶訶	1	088	峴	峴	崆峴	1
089	惓	惓	惓惓	4.5	090	董	蝮	蝮蝮	4
091	董	懂	懵懂	1	092	董	董	鼎董	4.5
093	董	隸	隸隸	1	094	董	董	董董	6
095	蠓	蠓	蠓蠓	4	096	蠓	濛	濛瀕	1
097	蠓	矓	矓矓	1	098	孔	孔	孔穴	7
099	孔	倥	倥倥	1	100	侗	桶	木桶	3

《廣韻》の「通攝」について

101	侗	瞳	瞳矐	1	102	總	嵒	龕嵒	1
103	總	鬣	鬣角	7	104	總	菴	奉菴	1
105	總	駸	軌駸	5	106	總	倏	倏倏	1
107	瀕	瀕	濛瀕	1	108	瀕	鴻	鴻濛	1
109	瀕	蚤	蚤蟲	3	110	瀕	味	味味	6
111	蓊	蓊	蓊鬱	4	112	蓊	窳	窳穢	1
113	蓊	勑	勑九	4	114	蓊	塿	塿捧	1
115	蓊	燭	燭燃	5	116	琫	俸	屏俸	4.5
117	矐	矐	瞳矐	1	118	矐	龕	龕嵒	1
119	矐	寵	孔寵	1	120	矐	攏	攏略	4
120	矐	攏	拗攏	5	121	矐	慵	慵悞	4
122	矐	僮	僮侗	1	123	噴	噴	羅噴	5
124	噴	懶	懶懶	6	125	動	詞	訂詞	4.5
126	動	硿	安硿	5	126	動	硿	鋤硿	3
127	奉	捧	塿捧	1	128	送	鬆	髮鬆	1
129	送	淞	凍淞	1	130	弄	悞	悞戇	1
131	弄	磨	磨磨	5	132	弄	屏	屏屏	7
133	凍	凍	冰凍	7	134	凍	棟	屋棟	3
135	凍	甌	甌甌	5	136	凍	鬆	髮鬆	1
137	控	倏	倏倏	1	138	控	鞞	馬鞞	7

139	控	空	空缺	4	140	糶	惚	控惚	1
141	認	認	認詞	1	142	認	惚	惚恫	1
143	洞	恫	惚恫	1	144	洞	認	認認	1
145	洞	慟	慟哭	3	146	諷	諷	諷刺	5
147	寤	躉	躉越	1	148	越	越	躉越	1
149	幪	幪	幪穀	3	150	幪	幪	幪幪	5
151	賄	賄	賄賄	5	152	黻	黻	黻黻	7
153	哄	港	港洞	1	154	烘	慳	悻慳	1
155	屋	魯	魯膏	7	156	獨	讀	謗讀	7
157	獨	獨	獨體	7	158	獨	讀	讀誦	3
159	獨	讀	簡讀	7	160	獨	礪	礪礪	1
161	獨	遺	媒遺	5	162	獨	獨	獨馳	1
163	獨	犢	牛犢	7	164	獨	獨	獨駢	3
165	獨	隼	隼麗	1	166	獨	獨	獨俅	1
167	獨	匱	匱匱	7	168	穀	鰲	布鰲	7
169	穀	殞	殞殊	1	170	穀	鎬	鎬辣	1
171	穀	穀	羅穀	7	172	穀	藪	石藪	5
173	穀	藪	箱藪	7	174	哭	穀	麻穀	7
175	禿	詭	詆詭	4	176	禿	鵠	鵠鵠	7
177	穀	穀	穀穀	1	178	摩	啄	啄木	1

《廣韻》の「通攝」について

179	速	蝮	蝮蝮	1	180	速	檄	檄檄	1
181	速	穀	穀穀	1	182	速	倅	倅倅	2
183	速	棟	赤棟	5	184	速	殊	殊殊	1
185	速	鍊	鎗鍊	1	186	速	椲	椲常	7
187	禄	漉	滲漉	7	188	禄	輶	輶輶	4
189	禄	甌	甌甌	7	190	禄	瑑	瑑瑑	6
191	禄	籠	箱籠	7	192	禄	蠅	蠅蠅	7
193	禄	麗	罍麗	1	194	禄	礪	礪礪	1
195	禄	籛	弧籛	7	196	禄	蝮	蝮聽	7
197	禄	瞞	瞞瞞	4.5	198	禄	趨	趨起	1
199	禄	麓	麓葱	3	200	設	臑	臑臑	7
201	族	族	宗族	3	202	族	銚	銚鑪	7
203	族	鑿	鑿鏤	7	204	疾	痲	痲痲	7
205	疾	礪	礪礪	1	206	疾	蔞	蔞蠶	7
207	疾	起	趨起	1	208	鏃	鏃	箭鏃	4
209	暴	瀑	瀑布	7	210	暴	蝮	蝮蝮	1
211	暴	毳	毳毳	4	212	暴	樸	檄樸	1
213	暴	糞	瀆糞	1	214	暴	穰	穰稞	7
215	扑	醜	白醜	5	216	扑	鼈	鼈鼈	注4
217	卜	卜	卜筮	7	218	卜	樸	械樸	5

219	卜	獮	獮鉛	7	220	卜	鞢	鞢絡	5
221	卜	鳩	鳩雉	7	222	卜	鷄	鳥鷄	7
223	木	木	樹木	7	224	木	沐	沐浴	2
225	木	初	初桑	7	226	木	霖	霖霖	4.5
227	木	蔡	五蔡	7	228	福	腹	腹肚	7
229	福	幅	絹幅	7	230	福	輻	車輻	7
231	福	復	優復	7	232	福	菑	菑菑	7
233	福	蝠	蝙蝠	7	234	福	躡	躡蹶	1
235	福	糞	瀆糞	1	236	伏	服	服事	7
236	伏	服	衣服	7	237	伏	茯	茯苓	7
238	伏	馥	芬馥	7	239	伏	復	旋復	7
240	伏	輓	輓免	7	241	伏	復	復流	7
242	伏	複	織複	5	243	伏	鷓	鷓鴣	1
244	伏	菴	蘆菴	7	245	伏	匍	匍匐	7
246	伏	桴	梁桴	7	247	縮	趨	趨趨	1
248	縮	蝟	螂蝟	5	249	六	陸	陸離	4
250	六	戮	刑戮	7	251	六	勦	勦力	4.5
252	六	陸	撞陸	3	253	六	鵠	鵠鷄	4
254	六	蓼	蓼莪	7	255	六	陸	蒞陸	7
256	六	礪	礪礪	1	257	六	蛙	魁蛙	7

《廣韻》の「通攝」について

258	六	鞋	鞋輻	7	259	六	跬	翹跬	7
260	逐	軸	車軸	7	261	逐	礪	礪礪	1
262	逐	妯	妯娒	7	263	逐	舳	舳舻	7
264	逐	鯀	鯀鯀	7	265	逐	柚	杼柚	7
266	逐	駮	馬駮	7	267	菊	鞠	鞠衣	7
268	菊	獬	石獬	5	269	菊	踰	踰蹋	5
270	菊	閭	閑閭	7	271	麴	麴	麴蘖	5
272	俶	柷	柷敌	7	273	育	錡	錡錡	7
274	育	蜻	復蜻	1	275	驩	趨	趨趨	1
276	驩	鵠	鵠鵠	5	277	驩	鞠	蹋鞠	5
278	驩	蝻	蝻蝻	1	279	驩	踰	踰蹋	5
280	蝻	蝻	蝻蝻	1	281	蝻	蹴	蹋蹴	5
282	肉	肉	骨肉	5	283	粥	柷	柷敌	7
284	叔	倏	倏忽	5	285	叔	鮠	鮠鮠	7
286	竹	莢	蕭莢	7	287	蹙	踰	踰踏	4.5
288	蹙	蚺	蚺蚺	4.5	289	蹙	嗽	嗽咨	4
290	蹙	嗽	嗽嗽	7	291	蹙	歛	歛歛	7
292	蹙	臧	脚臧	4.5	293	蹙	頤	頤頤	7
294	腩	腩	縮腩	1	295	腩	忸	忸忸	4
296	腩	蛆	蛆蛆	4	297	腩	汙	踏汙	1

298	緘	緘	緘文	7	299	蝮	蝮	蝮蛇	7
300	蝮	覆	反覆	7	301	蝮	復	復益	7
302	蝮	蕘	蕘蕘	7	303	郁	栒	栒李	7
304	郁	噢	噢咿	7	305	郁	塿	塿壤	7
306	郁	奠	奠奠	7	307	肅	苻	苻苻	1
308	肅	鷗	鷗鷗	7	309	肅	蠓	蠓蛸	7
310	肅	驢	驢驢	7	311	肅	翻	翻翻	6
312	肅	縮	縮縮	1	313	肅	佩	倍佩	1
314	目	睦	和睦	7	315	目	苜	苜苻	1
316	目	菽	菽苻	1	317	目	曹	曹曹	5
318	目	疝	疝病	7	319	囿	囿	園囿	7
320	蓄	蓄	蓄冬	3	321	蓄	倍	倍佩	1
322	歛	歛	歛歛	7	323	冬	歛	歛烏	4
324	彤	鳩	鳩渠	5	325	彤	憺	憺憺	6
326	彤	鈇	鈇鈇	7	327	賚	琮	黃琮	5
328	賚	琮	琮鄉	5	329	賚	諒	謀諒	5
330	賚	棕	帛棕	7	331	農	農	田農	5
332	農	饑	饑饑	4.5	333	農	懷	縫懷	注5
334	碯	碯	碯墜	1	335	鬆	鬆	攀鬆	2
336	腫	唾	唾啞	注6	337	寵	寵	寵愛	7

《廣韻》の「通攝」について

338	寵	垧	垧垧	1	339	隴	壠	丘壠	7
340	擁	擁	手擁	5	340	擁	擁	擁劔	7
341	擁	壅	壅塌	4	342	宄	宄	宄散	5
343	宄	緇	空緇	7	344	宄	魀	魀鼠	5
345	勇	涌	涌泉	7	346	勇	甬	甬道	5
347	勇	湧	慾湧	1	348	勇	趨	躡趨	7
349	勇	垧	垧垧	1	350	拱	拳	梏拳	3.5
351	拱	子	子子	4	352	拱	軼	軼軸	3
353	悚	從	從從	6	354	洵	洵	洵浴	1
355	洵	兇	兇懼	7	356	罇	罇	罇駕	7
357	鵠	鵠	鵠鵠	7	358	毒	蝻	蝻蝻	7
359	毒	淮	淮淅	1	360	毒	蠹	左蠹	7
361	毒	礪	礪礪	2	362	篤	𪔐	瓠𪔐	7
363	篤	碯	碯砒	5	364	酷	砮	礪砮	2
365	鵠	鵠	鵠鵠	6	366	鵠	礪	石礪	5
367	僕	僕	僮僕	3	368	僕	鏤	鏤鏤	7
369	僕	蝻	蝻蠹	7	369	僕	蝻	蝻蝻	2
370	僕	鵠	鵠鵠	1	371	梏	雉	鴉雉	4
372	瑁	瑁	瑁瑁	1	373	瑁	帽	帽帽	2
374	煇	臙	羹臙	7	375	褥	褥	阿褥	7

376	褥	擣	捻擣	5	377	褻	鷄	烏鷄	7
378	鍾	躡	躡躡	1	379	鍾	鐘	鐘籠	1
380	鍾	鈞	鐵鈞	7	381	龍	躡	躡躡	1
382	龍	籠	筮籠	1	382	龍	籠	鐘籠	1
383	龍	龍	龍古	7	384	春	蜻	蜻蜻	4
385	春	鯖	觸鯖	3	386	松	松	松脂	5
387	衝	憧	憧憧	6	388	衝	幢	幢幢	2
389	衝	種	種裕	1	390	容	鎔	鎔鑄	7
391	容	傭	傭賃	7	392	容	鏞	鏞鏞	5
393	容	蓉	芙蓉	5	394	容	鏞	條鏞	5
395	容	俗	俗華	5	396	容	裕	種裕	1
397	容	琿	琿琿	1	398	容	簞	簞簞	1
399	容	頌	形頌	5	400	容	空	空盛	7
401	容	筭	筭筭	7	402	容	鵠	鵠鵠	3
403	容	櫛	櫛櫛	5	404	容	彪	形彪	5
405	容	戲	戲戮	5	406	胷	凶	凶禍	7
407	顛	顛	顛顛	6	408	顛	喁	喁喁	4
409	邕	邕	邕邕	1	410	邕	癰	癰癰	7
411	邕	靡	辟靡	7	412	邕	隤	隤渠	5
413	醜	醜	醜醜	1	414	醜	禮	禮華	5

《廣韻》の「通攝」について

415	醜	黷	黷黷	1	416	重	鷓	鷓鷓	5
417	躡	躡	躡躡	1	418	躡	黷	黷黑	7
419	逢	穉	穉穉	1	420	峯	峯	山峯	5
421	峯	鋒	刃鋒	7	422	峯	丰	丰茸	1
423	峯	燙	燙火	7	424	峯	犄	犄牛	5
425	縱	縱	縱横	5	426	縱	蹤	蹤跡	4
427	縱	礎	礎礎	5	428	茸	穉	穉穉	1
429	茸	穉	穉禾	5	430	蛩	蛩	蛩蛩	6
431	蛩	舩	舩船	5	432	蛩	軹	軹軸	3
433	蛩	蝻	蝻籠	1	434	蛩	傑	傑恂	1
435	蛩	鬣	鬣鬆	1	436	蛩	翌	翌佩	7
437	恭	恭	恭敬	4	438	恭	鬣	鬣鬆	1
439	蚣	蚣	蚣蝮	4.5	440	蚣	恂	恂恭	1
441	縱	從	從容	1	442	縱	睽	電睽	7
443	縱	縱	螭縱	2	444	縱	琤	琤琤	1
445	縱	縱	縱移	5	446	縱	迳	迳遷	5
447	翌	蝻	蝻籠	1	448	頌	誦	讀誦	3
449	俸	俸	俸秩	7	450	俸	縫	衣縫	7
451	葑	葑	葑田	7	452	雍	壙	壙田	7
453	縱	縱	放縱	5	454	躡	躡	躡躡	1

455	種	種	種 埴	4	456	種	僮	僮 僮	1
457	躡	躡	躡 躡	1	458	躡	僮	僮 僮	1
459	燭	燭	燈 燭	7	459	燭	燭	蠟 燭	5
460	燭	鸚	鸚 鴉	1	461	燭	噉	噉 鴉	7
462	燭	蠟	蠟 蠟	7	463	燭	蠟	蠟 蠟	7
464	玉	鴉	鸚 鴉	1	465	旭	頤	頤 頤	7
466	輦	暴	靴 暴子	7	467	局	局	曹 局	7
468	局	跼	蹇 跼	4	469	局	侷	侷 促	1
470	蜀	蜀	巴 蜀	7	471	蜀	蠟	蠟 蠟	7
472	蜀	獨	獨 倏	1	473	蜀	瑁	玉 瑁	1
474	觸	觸	狼 觸	7	475	辱	辱	恥 辱	7
476	辱	蓐	草 蓐	7	477	辱	褥	氈 褥	7
478	辱	溽	溽 暑	7	479	辱	噉	噉 噉	1
480	束	倏	獨 倏	1	481	欲	欲	貪 欲	7
482	欲	浴	洗 浴	7	483	欲	鴿	鴿 鴿	7
484	欲	慾	嗜 慾	7	485	欲	裕	獨 裕	2
486	欲	谷	山 谷	7	487	躑	躑	躑 躑	4.5
488	躑	躑	躑 躑	4.5	489	錄	錄	采 錄	7
490	錄	親	曲 親	1	491	錄	駮	駮 駮	7
492	錄	菴	菴 蓐	1	493	錄	籙	圖 籙	7

494	録	碌	碌石	5	495	録	踈	恭踈	3
496	録	趨	趨趨	1	497	録	敍	剥敍	5
498	曲	曲	委曲	7	499	曲	匡	匡匣	5
500	足	足	足趾	7	501	贖	鞞	鞞鞞	7
502	幪	幪	幪頭	7	503	促	起	起速	2
504	促	竦	弗竦	4	505	續	俗	風俗	3
506	續	蕘	蕘斷	7	507	續	鞞	鞞鞞	7
508	粟	慄	慄斯	7	509	粟	𦵏	𦵏𦵏	注7
510	棟	棟	棟樑	注8	511	棟	𠄎	𠄎𠄎	4.5
512	棟	棟	精棟	注9	513	棟	趨	趨趨	1
514	棟	豕	豕豕	1	*同一番号のものは親字が共通。 (注10)				

二 概括

型別の割合は以下のようになる。

1	疊韻甲型	147例	28% (注11)
2	疊韻乙型	12例	2%
3	通攝内型	27例 (含5と重複するもの)	5%
4	双声型	52例 (含5と重複するもの)	10%
5	同調型	99例 (含3、4と重複するもの)	19%
6	重型	16例	3%
7	その他	178例	34%

この結果をみると熟語、連語（殆どが二字である）を構成しようとする

場合声、韻、調のいずれかを調和させようと意識がはたらいているものと考えられる。《廣韻》は「韻書」であるのでそれがかなり意識的に操作されている場合もあるだろうが、無意識的に調和させようとすることも少なからずあると思われる。日本語でも現代においてはその意識は薄らいでいるが、「和語」にはウラル・アルタイ語族特有な「語頭に濁音は置かない」、「母音は語頭に置く（あめ、など連語では〈きりさめ〉のように子音をつける）」、「単語の音韻は調和する（こころ、kokoro など母音を統一させる）」といった意識がはたらいていた。（注12）漢語においてもそのような民族の言語感覚があり、それが声、韻、調いずれかの調和なのであろう。

三 まとめ

各型別にみても。

1 豊韻甲型

東韻28例	冬韻 1 例	鍾韻24例	平声36%
董韻18例		腫韻 4 例	上声15%
送韻14例		用韻 4 例	去声12%
屋韻39例	沃韻 3 例	燭韻12例	入声37%

平声と入声で70%を越えている。重型を除きどの型も平声と入声に熟語、連語が多い。平声の場合はもともと所属字数が多いので納得はできるが、所属字数がそれほど多くない入声の例が目立つ。

2 豊韻乙型

東韻 1 例	冬韻 1 例	鍾韻 2 例	平声33%
屋韻 2 例	沃韻 4 例	燭韻 2 例	入声67%

この型は例が少ないが、平声と入声の例のみである。

東韻（084）、冬韻（335）が共通の1例。鍾韻388例は東韻054例と同じ

熟語であるが、054例では豊韻甲型であり、388例は豊韻乙型である。つまり、「臙臙」の「臙」には鍾韻、東韻に双方に属し、「臙」は東韻のみということになる。しかし東韻の「臙」には熟語としては記載がない。同様に、鍾韻443例「蟪蛄」は東韻081例と同じ熟語であるが、「蟪蛄」の「蟪」は東韻のみということになる。

屋韻182例は燭韻472、480例と同じ熟語であり、472、480例は豊韻甲型で、182例は豊韻乙型である。熟語「獨倅」の「獨」は燭韻のみということになる。224例「沐浴」の「浴」は燭韻であるが熟語の記載がない。

沃韻361例「碌礪」の「碌」は屋韻に属すが熟語の記載がない。364例「碌礪」も361例と同様である。369例は屋韻179、210例と同じ熟語であり、179、210例は豊韻甲型で、369例は豊韻乙型である。熟語「蝻蝻」の「蝻」は沃韻にも属している。373例は屋韻312例と同じ熟語であり、312例は豊韻甲型で、373例は豊韻乙型である。熟語「艗縮」の「艗」は沃韻にも属している。

燭韻485例「獨裕」の「獨」は屋韻に属すが熟語の記載がない。503例「起速」の「速」は屋韻に属すが熟語の記載がない。

3 通攝内型

東韻 6 例	鍾韻 3 例	平声 33%	
董韻 3 例	腫韻 2 例	上声 19%	
送韻 3 例	用韻 1 例	去声 15%	
屋韻 6 例	沃韻 1 例	燭韻 2 例	入声 33%

この型は入声と非入声との連語が目立つ。非入声間の連語は僅かである。

東韻 6 例はすべて入声との連語である。009例（367例と共通）は沃韻、011、012、015、020（252例と共通）、057例は屋韻と結びついている。

鍾韻 3 例はすべて入声との連語である。385例（164例と共通）、432例は屋韻、402例は燭韻と結びついている。

董韻 3 例は、100例が入声屋韻と結びつき、109、126例が東韻と結びついている。

腫韻 2 例も入声と結びついている。350例は沃韻、352例は屋韻と結びついている。

送韻 3 例は、134、145、149例すべて屋韻と結びついている。

用韻 1 例、448例（158例と共通）は屋韻と結びついている。

屋韻 6 例は、158例（448例と共通）は用韻、164例（385例と共通）は鍾韻、199例は東韻、201例は冬韻、252例（020例と共通）は東韻、320例は冬韻と結びついている。平声と結びついている例が多い。

沃韻 1 例、367例（009例と共通）は東韻と結びついている。

燭韻 2 例、495例は鍾韻、505韻は東韻と結びついている。

冬韻と鍾韻が「同用」であり、その冬韻にこの型の例がないなど、当初の予想としてこの型はもっと多いかと思われたが、意外と少例であった。

4 双声型

東韻11例	冬韻 2 例	鍾韻 5 例	平声35%
董韻 9 例		腫韻 2 例	上声21%
送韻 1 例		用韻 1 例	去声 4 %
屋韻15例	沃韻 1 例	燭韻 5 例	入声40%

この型も入声に例が多いことが目立っている。双声は疊韻とともに連語の典型であるので、疊韻の約三分の一というのは少例と思う。

5 同調型

東韻20例	冬韻 6 例	鍾韻21例	平声47%
董韻 8 例		腫韻 5 例	上声13%
送韻 5 例		用韻 1 例	去声 6 %
屋韻24例	沃韻 3 例	燭韻 7 例	入声34%

この型も1の豊韻甲型同様に平声と入声の例で70%を越えている。入声以外では陰声韻との結びつく例が多い。

入声の他の入声との結びつきは、

屋韻

161、271例は薛韻、172、183、268、287例は昔韻、197例は錫韻、215例は陌韻、218、242、248、251、288、292例は職韻、220例は鐸韻、226例は麦韻、269、277、279、281例は盍韻、276例は黠韻、282、284例は沒韻、317例は緝韻

沃韻

363例は麦韻、366例は昔韻、376例は帖韻

燭韻

459例は盍韻、487、488、494、511例は昔韻、497例は覺韻、499例は狎韻となっており、やはり-k韻尾入声が多いが、さほど顕著ともいえない。

6 重型

東韻5例	冬韻1例	鍾韻3例	平声56%
董韻3例		腫韻1例	上声25%
屋韻2例	沃韻1例		入声19%

この型は入声の例が少ないのが逆に目立っている。

7 その他

東韻19例	冬韻2例	鍾韻14例	平声20%
董韻2例		腫韻9例	上声6%
送韻4例		用韻4例	去声4%
屋韻88例	沃韻8例	燭韻28例	入声70%

ここでは入声の例が際だって多いことがわかる。全体を通して入声が

連語となることが多く、このことには何らかの理由があると思われるが、それについては他攝、上古音などとの関連も含めてあらためて課題としたい。

注1 「鵠」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「胡官切」

注2 「殍」は《廣韻》に記載がない。《字彙》「徒郎切」

注3 「鮫」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「似絶切」

注4 「寶」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「博木切」

注5 「貌」は《廣韻》に記載がない。《五音集韻》「薄紅切」

注6 「欖」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「尹竦切」

注7 「始」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「如容、而用切」

注8 「樗」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「抽居切」

注9 「輝」は《廣韻》に記載がない。《集韻》「鄰知切」

注10 去声「宋韻」はもともと所属字数が少なく（9字）、熟語、連語の例がない。

注11 晝韻甲型、晝韻乙型、通攝内型は重複している例もあるが、すべて1例とした。

注12 《日本語史要説》（渡辺実著 岩波テキストボックス、1997年10月）第I部
日本語の古態 第二章 第二節 音節結合法則と母音調和 参照。